

令和 2 年度

「運営に関する計画」

大阪市立新北野中学校

令和 2 年 4 月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

○令和元年度の全国学力学習状況調査において、平均正答率は、全国平均より国語で4.8ポイント、数学で5.8ポイント、英語で6.0ポイント下回っている。また、平均無解答率は、全国平均より国語で2.4ポイント、数学で4.7ポイント、英語で5ポイント高い。

課題があった「生活指導」において、教員のきめ細かな指導と関係諸機関との連携を強化したことで、生徒の状況が良くなってきている。今後はこの連携を大切に、「時間を守る」「服装を正す」「ルールを守る」等の基本的な生活習慣をさらに徹底させていきたい。その中で不登校生が増加しているためその対応が必要である。

教職員の組織的な体制についても、基本的な生活習慣を身に付けさせるための取組が学校総体として確立していかなければならない。学年間、教職員間で共通理解を図り、保護者と連携して生活指導体制の強化とともに、人権教育および情操教育を推進し、豊かな心を育成することが課題である。

○生徒の防災意識を高める取り組みを継続していく。健康で安心・安全な学校生活を送るために、生徒自らが健康の大切さについて、健康診断や日常の生活を通して学び、自己管理のできる生徒の育成が必要である。保護者へは、自分の子どもの健康状態への認識を高めると共に、学校・地域医療との連携を含めた取り組みが必要である。

○平成30年度「学校教育診断調査」について、学習面に関するアンケート「授業は楽しく理解できる」「先生は学習の成果や努力を認めてくれる」「家庭学習（宿題など）やテスト勉強の方法について指導を受けている」などの項目が、目標の数値に達していなかったが、令和元年度「学校教育診断調査」においては、学習面に関するアンケート「先生は学習の成果や努力を認めてくれる」は68ポイント、「家庭学習（宿題など）やテスト勉強の方法について指導を受けている」は71ポイント、と双方とも平成30年度より上昇している。学習面においては、学習意欲が少しずつ上昇してきており、家庭学習の習慣や自主学習を充実させることで学力の向上を図る。また、教員の授業力アップ及び授業改善を図り、学力向上につなげていくことが必要である。

○運動面・体力面においては、「令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果や部活動での好成績等から、運動に対する興味関心が高まり、数値においても成果があった。また、保健教育において「早寝・早起き・朝ごはん」運動を推進してきたことで、朝食摂取率も増加している。「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣をつける指導や啓発活動を継続し、保護者とも連携しながら、生徒の健康意識を高める必要がある。食育について、食の大切さについて「食育だより」を通し、定着した食育指導を継続する。

中期目標

- （1）基本的な生活習慣の確立と規範意識の醸成に努め、人権尊重の教育を深める。
- （2）わかる楽しさ、できる喜びを実感できる授業を行うとともに、生徒の家庭学習が定着するよう、指導、確認、徹底を図り、自学自習の習慣づけと学力向上を図る。
- （3）体力向上の取組を推進する。

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

○基本的生活習慣の確立に向け、「令和2年度 学校教育診断調査」における「生活指導の指導基準がはっきりしてわかりやすい」の生活・施設面の項目について、「よくあてはまる」「あてはまる」の割合を80%以上にする。（マネジメント改革関連）

○人権教育年間計画に基づき、人権を尊重する教育を推進し、「令和2年度 学校教育診断調査」における「生命や人権の尊さ、平和や環境問題について学習する機会がある」「道徳の授業や学校行事で、豊かな心や人の生き方について学習する機会がある」の学習面の項目について「よくあてはまる」「あてはまる」の割合を70%以上にする。（マネジメント改革関連）

○キャリア教育を推進し、「令和2年度 学校教育診断調査」における「中学校卒業後の進路や職業についての学習や話をする機会がある」の学習面の項目について「よくあてはまる」「あてはまる」の割合を65%以上にする。（カリキュラム改革関連）

○地域との連携を推進し、「令和2年度 学校教育診断調査」における「学校は地域との連携をよく進めている」「地域の人と交流することがよくある」の生活・施設面の項目について「よくあてはまる」「あてはまる」の割合を70%以上にする。（ガバナンス改革関連）

○防災教育を推進し、「令和2年度 学校教育診断調査」における「津波や火災などの災害や緊急事態にどのように行動すべきか指導を受けている」の生活・施設面の項目について、「よくあてはまる」「あてはまる」の割合を80%以上にする。（ガバナンス改革関連）

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

○わかる楽しさ、できる喜びを実感できる授業を推進し、「令和3年度 全国学力・学習状況調査」の教科（国語・数学）に関する「平均無回答率」を全国レベルにまで減少させる。「令和2年度 学校教育診断調査」における「授業は楽しく理解できる」「先生は学習の成果や努力を認めてくれる」の学習面の項目について「よくあてはまる」「あてはまる」の割合を65%以上にする。「令和3年度 全国学力・学習状況調査」における「普段の授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思いますか」の項目について「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」の割合を10ポイントアップさせる。（カリキュラム改革関連）

○家庭学習の習慣化を推進し、「令和3年度 全国学力・学習状況調査」における「家で、学校の授業の復習をしていますか」の項目について「している」の割合を5ポイントアップさせる。また、「令和2年度 学校教育診断調査」における「家庭学習（宿題など）やテスト勉強の方法を教えてもらえる」の学習面の項目について「よくあてはまる」「あてはまる」の割合を70%以上にする。（カリキュラム改革関連）

○放課後学習など補充学習を推進し、「令和2年度 学校教育診断調査」における「先生は補充学習等でも基礎的な学力をつけるための勉強を教えてくれる。」の学習面の項目について「よくあてはまる」「あてはまる」の割合を70%以上にする。（カリキュラム改革関連）

○睡眠習慣の充実を推進し、「令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣調査」における「毎日どのくらい寝ていますか」との問いに対して、「6時間以上寝ている」の回答率を、95%以上にする。「令和3年度 全国学力・学習状況調査」における「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」との問いに対しての肯定的回答率を75%以上にする。（マネジメント改革関連）

○食育の取組を推進し、「令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣調査」における「朝食は食べますか」の項目について、「毎日食べる」の割合を85%以上にする。（ガバナンス改革関連）

【その他】

○特別支援教育を充実させ、「令和2年度 学校教育診断調査」における教職員アンケート「(18)本校では障がい者理解を深める指導について課題を明確にしている」の項目について、「よくあてはまる」「あてはまる」の割合を75%以上にする。

○校内美化・環境整備に努め、「令和２年度 学校教育診断調査」における「学校の施設はよく整備され使いやすい」「学校は清掃が行き届いて美しい」の生活・施設面の項目について「よくあてはまる」「あてはまる」の割合を **80%以上**にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

○年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。

○校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を 85%以上にする。

○年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。

○年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。

学校園の年度目標（小・中学校）

○基本的生活習慣の確立に向け、「令和２年度 学校教育診断調査」における「生活指導の指導基準がはっきりしてわかりやすい」の生活・施設面の項目について、「よくあてはまる」「あてはまる」の割合を **3ポイント**上昇させる。

○人権教育年間計画に基づき、人権を尊重する教育を推進し、「令和２年度 学校教育診断調査」における「(12)道徳の授業や学校行事で、豊かな心や人の生き方について学習する機会がある」について「よくあてはまる」「あてはまる」の割合を **65%以上**にする。

○地域との連携を推進し、「令和２年度 学校教育診断調査」における「学校は地域との連携をよく進めている」「地域の人と交流することがよくある」の生活・施設面の項目について「よくあてはまる」「あてはまる」の割合を **65%以上**にする。

○防災教育を推進し、「令和２年度 学校教育診断調査」における「津波や火災などの災害や緊急事態にどのように行動すべきか指導を受けている」の生活・施設面の項目について、「よくあてはまる」「あてはまる」の割合を **75%以上**にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

○中学生チャレンジテストにおける対府平均比を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。

○中学生チャレンジテストにおける正答率が府平均の 7 割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント減少させる。

○中学生チャレンジテストにおける正答率が府平均の 2 割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント増加させる。

○校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。

○前年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において課題となった種目の記録を、前年度より向上させる。

学校園の年度目標

○わかる・楽しい授業を推進し、「令和2年度 学校教育診断調査」における「授業は楽しく理解できる」「先生は学習の成果や努力を認めてくれる」の学習面の項目について「よくあてはまる」「あてはまる」の割合を 65%以上 にする。

○家庭学習の習慣化を推進し、「令和2年度学校教育診断調査」における「家庭学習（宿題など）やテスト勉強の方法を教えてもらえる」の学習面の項目について「よくあてはまる」「あてはまる」の割合を 65%以上 にする。

○放課後学習など補充学習を推進し、「令和2年度学校教育診断調査」における「先生は補充学習等でも基礎的な学力をつけるための勉強をしてくれる。」の学習面の項目について「よくあてはまる」「あてはまる」の割合を 70%以上 にする。

○睡眠習慣の充実を推進し、「令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣調査」における「毎日どのくらい寝ていますか」との問いに対して、「6時間以上寝ている」の回答率を 90%以上 にする。

○キャリア教育を推進し、「令和2年度学校教育診断調査」における「中学校卒業後の進路や職業についての学習や話をする機会がある」の学習面の項目について「よくあてはまる」「あてはまる」の割合を 60%以上 にする。

【その他】

○インクルーシブ教育の推進と充実に努め、毎月の職員会議や特別支援委員会、校務支援パソコンを活用した情報共有を図るとともに連絡ノート等で保護者との連携を図る。

○校内美化・環境整備に努め、「令和2年度学校教育診断調査」における「学校の施設はよく整備され使いやすい」「学校は清掃が行き届いて美しい」の生活・施設面の項目について「よくあてはまる」「あてはまる」の割合を 70%以上 にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立新北野中学校 令和2年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが、目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>○年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。</p> <p>○校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を 85%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。</p> <p>○年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○基本的生活習慣の確立に向け、「令和2年度 学校教育診断調査」における「生活指導の指導基準がはっきりしてわかりやすい」の生活・施設面の項目について、「よくあてはまる」「あてはまる」の割合を 3ポイント 上昇させる。</p> <p>○人権教育年間計画に基づき、人権を尊重する教育を推進し、「令和2年度 学校教育診断調査」における「(12)道徳の授業や学校行事で、豊かな心や人の生き方について学習する機会がある」について「よくあてはまる」「あてはまる」の割合を 65%以上 にする。</p> <p>○地域との連携を推進し、「令和2年度 学校教育診断調査」における「学校は地域との連携をよく進めている」「地域の人と交流することがよくある」の生活・施設面の項目について「よくあてはまる」「あてはまる」の割合を 65%以上 にする。</p> <p>○防災教育を推進し、「令和2年度 学校教育診断調査」における「津波や火災などの災害や緊急事態にどのように行動すべきか指導を受けている」の生活・施設面の項目について、「よくあてはまる」「あてはまる」の割合を 75%以上 にする。</p>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	
<p>取組内容①【施策1・安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめを許さない学校づくりを推進する。 ・「いじめ防止基本方針」に基づいて、未然防止に最優先に取り組むとともに、いじめに関するアンケート及び相談活動を定期的に行い、早期発見・早期解決をめざす。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週に1回の主任会（管理職・生徒指導主事・教務主任・各学年主任）を開催する。 ・認知したいじめ案件に関して、対応率を100%にし、いじめを許さない学校づくりを推進する。 	
<p>取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平和学習」「障がい者問題」「いじめ問題」に取り組む。 ・道徳教育の年間指導計画に基づき、教科書を活用し、道徳教育を推進する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間30時間以上の教科書による道徳の授業をおこなう。 	

取組内容③【施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の整備】 ・避難訓練や防災訓練等の安全教育を実施し、安全・防災への意識を高める。	
指標 ・年間 2 回以上の避難訓練を実施する。 ・事前に防災に関する冊子を有効活用し、日頃の心構えと備えについて 2 回以上学習する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
後期への改善点	
年度目標	
【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】 全市共通目標（小・中学校） ○中学生チャレンジテストにおける対府平均比を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。 ○中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の 7 割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント減少させる。 ○中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の 2 割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント増加させる。 ○校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。 ○前年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において課題となった種目の記録を、前年度より向上させる。	

学校園の年度目標	
○わかる・楽しい授業を推進し、「令和２年度 学校教育診断調査」における「授業は楽しく理解できる」「先生は学習の成果や努力を認めてくれる」の学習面の項目について「よくあてはまる」「あてはまる」の割合を 65%以上にする。	
○家庭学習の習慣化を推進し、「令和２年度 学校教育診断調査」における「家庭学習（宿題など）やテスト勉強の方法を教えてもらえる」の学習面の項目について「よくあてはまる」「あてはまる」の割合を 65%以上にする。	
○放課後学習など補充学習を推進し、「令和２年度 学校教育診断調査」における「先生は補充学習等でも基礎的な学力をつけるための勉強を教えてくれる。」の学習面の項目について「よくあてはまる」「あてはまる」の割合を 70%以上にする。	
○睡眠習慣の充実を推進し、「令和３年度 全国体力・運動能力、運動習慣調査」における「毎日どのくらい寝ていますか」との問いに対して、「６時間以上寝ている」の回答率を、 90%以上にする。	
○キャリア教育を推進し、「令和２年度 学校教育診断調査」における「中学校卒業後の進路や職業についての学習や話をする機会がある」の学習面の項目について「よくあてはまる」「あてはまる」の割合を 60%以上にする。	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	
取組内容①【施策６ 国際社会において生き抜く力の育成】	
・国際理解教育を推進し、異文化共生の理念を養う。	
・国際協力の大変さを学ぶ	
指標	
・JOCA（海外青年協力協会）との連携した国際理解教育を１回以上行う。	
取組内容②【施策５ 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】	
・主体的、対話的で深い学びのある授業を各教科で研究する。	
・放課後学習会を行い、検定試験等の合格を目指す。	
・ＩＣＴを活用したわかりやすい授業づくりをおこなう。	
指標	
・３年生で漢字検定を行う	
・タブレットの１クラスの年間平均利用回数を３回以上にする。	
取組内容③【施策５ 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】	
・朝読や昼休みの図書館開放を行い、読書習慣を身に付けさせる。	
・学力支援を目的とした放課後学習、長期休業中の学習会を実施する。	
指標	
・元気アップ事業による自主学習会を２５回以上行う。	
取組内容④【施策７ 健康や体力を保持増進する力の育成】	
・「早寝・早起き・朝ごはん」をテーマに掲げ、保健委員会を中心に、テーマに対する取組をおこなう。スマートフォンの普及により、夜更かしをしている生徒もいるため、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣をつけさせる。	
指標	
・月に１回以上、食育通信・保健通信を発行する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

後期への改善点		
年度目標		
<p>【その他】</p> <p>○インクルーシブ教育の推進と充実に努め、職員会議や特別支援委員会、校務支援パソコンを活用した情報共有を図るとともに連絡ノート等で保護者との連携を図る。</p> <p>○校内美化・環境整備に努め、「令和元年度 学校教育診断調査」における「学校の施設はよく整備され使いやすい」「学校は清掃が行き届いて美しい」の生活・施設面の項目について「よくあてはまる」「あてはまる」の割合を <u>70%以上</u>にする。</p>		
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		達成状況
<p>取組内容①【区分：特別支援教育の充実】</p> <p>・支援学級に所属する生徒の「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」を作成する。</p> <p>指標</p> <p>・「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」に基づき、全教職員で学期に1回以上情報交換会または研修会を実施する。</p>		
<p>取組内容②【区分：美化・環境整備】</p> <p>・美化委員会の活動として清掃点検を行い、生徒および教職員の美化意識を高める。</p> <p>・破損個所の修理を早く行うなど、環境整備を行う。</p> <p>指標</p> <p>・美化委員による清掃点検を週1回行う。</p> <p>・修理依頼申請用紙を活用した早急な修理を行うとともに、環境整備を進める。</p>		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
後期への改善点		